

## ⑭監事講評

監事 野尻直之

吉田理事長をはじめメンバーの皆様、一年間大変お疲れ様でした。本年は数年行ってきた継続事業の見直しや国際事業への新たな挑戦、行政への提言に向けた取り組み等、多くの事業を展開して頂きました。各委員会や室がそれぞれの役割と責任を自覚し、主体的に取り組んで頂いたことに改めて感謝を申し上げます。理事長が掲げたスローガンにある「挑戦」の通り、行動を起こしたからこそ得られたものが多々あったかと思えます。

また、そうした挑戦の一つが日本JCの褒賞制度において地区会長賞を見事受賞した事はLOMの活動において励みになるだけでなく、メンバーの意識高揚につながりました。本年度の経験や体験を通して実感した個人の成長をLOMの組織力向上につなげて参りましょう。

LOMの運営においては昨年と同様に諸会議における事業計画書や予算書等において早めの準備をして頂くことで会議もより効率かつ効果的な運営が出来る場面もありました。

次年度もより素晴らしい事業を地域の明るい豊かな社会の実現のために展開して参りましょう。一年間ありがとうございました。

監事 榊原昌寛

三信条「修練・奉仕・友情」を基本に、我々の共通理念「明るい豊かな社会の実現」を目指し、吉田理事長が掲げた「挑戦～次世代へ繋ぎ輝きつづけるJCへ～」のスローガンの下、様々な運動・活動を展開してきました。

「未来への懸け橋もとみやの想い海を渡る事業」、「Teen's Will～十代からの提言～事業」、「パークゴルフ世代間交流事業」、「大玉村村長選挙公開討論会」、「本宮高校模擬面接会」と数多くの対外事業を行い、すべての運動に明確な目的を持ち、担当委員会を中心とし多くのメンバーが苦慮しながらも多くの事を挑戦した事だろうと思えます。その結果、多くの地域住民に我々の運動を力強く発信し、多くの波紋を広げ、我々の理想の一助になったものと確信しております。そして、私たちが多くの学びや気づきを得て、成長の糧になったものと考えます。

そして、総務広報室を中心に組織運営もしっかりと行い、我々の価値観に共感してくれた多くの新入会員を迎える事ができ、対内的にも充実した1年だったと思えます。次年度以降、その新入会員や現会員が更なる自己成長できる組織、また委員会の単位に捕らわれることなく、一丸となって取り組んでいく柔軟な対応が出来る組織となることを期待致します。

友情と信頼を基盤に、勇気をもって困難に向かい、常に自己を磨き様々な挑戦をしてこられた会員に敬意を表し、また我々の運動・活動にご支援ご協力頂いたすべての方々に感謝を申し上げ、監事報告とさせていただきます。